



当クリニックの新型コロナウイルス感染予防対策

当クリニックでは、皆様に安心して受診していただけるよう、様々な新型コロナウイルスの感染予防対策を実施しております。

来院者様にはマスク着用や検温、手指消毒をお願いし、発熱や海外渡航などについての聴取や問診時での体調確認を行っております。職員においてもマスクや手袋の着用、毎日の検温その他健康チェック、こまめな手指消毒やうがいなど徹底して実施しております。設備に関しましても、検査機器やドアノブなどの消毒、室内の換気、アクリル板の設置、距離の確保など、十分な予防対策を行っております。

なお、診療時間や各種検査の実施などについて、感染拡大の防止を考慮し今後の状況によって様々な変更が考えられます。最新の情報は当クリニックホームページまたはお電話でご確認いただくと幸いです。

ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

新しい日常の医療 ～オンライン人間ドックへの挑戦～

未だ明けぬコロナ禍にあります。皆様が健やかに過ごされることをお祈りしております。また、ウイルス対策のためご不便をおかけしておりますが、皆様のご協力や職員の努力もあり、当クリニックでの新型コロナウイルスの発生はなく業務を継続させて頂いております。

新型コロナウイルスは世界の生活様式を変え、新しい日常への変化を余儀なくされています。この変化の中で、私どもは二つの大きな命題を得ました。一つ目は皆様の健康を守るシステムの向上、二つ目は感染症対策の拡充です。

新型コロナウイルスの重症化には基礎疾患、特に心血管疾患、高血圧、糖尿病の有無が関連します。これらの基礎疾患の予防は人間ドックの大きな目標でもあります。そのため、コロナ禍にあっても皆様の健康をチェックさせていただき、必要な対策を示していくことが大切だと考えています。しかし、新型コロナウイルスでは医療機関がその感染源になることが示されました。私どもはこの事実を重く受け止め、皆様の安全を守るための対策を進めています。その一つが、オンライン人間ドックシステムの開発です。現在、株式会社エムティーアイのCARADA診療サービスとの連携により、オンラインでの結果説明と結果配信システムの開発を行っています。これらを用いたオンライン人間ドックでは、検査を受けたらそのまま帰宅し、後日ご自宅で結果説明を受けることが可能です。さらに、料金の支払いもシステムを利用してカード決済で行うことができます。これにより、院内での待ち時間無しで今まで通りの結果のサポートが行える様にしたいと考えています。

また、オンライン診療も開始し、人間ドックで見つかった異常への診療もより簡便に行える様にしていきます。さらに、風邪症状などでも皆様にオンライン診療をご利用頂けるようにします。これにより、皆様風邪を引いた際にも安心して診療を受けられる環境と、院内へウイルスが持ち込まれない環境を両立したいと考えています。

現在、オンライン結果説明とオンライン診療について、近日中の実施を目指し準備を進めています。新しい試みのため、導入時には不手際もあることと思いますが、ぜひご利用頂ければ幸いです。

大宮シティクリニック 理事 中川 良



人間ドックにおける保健指導状況と性格傾向の検討

当クリニックでは、2015年10月から、人間ドック受診者に個別の保健指導を実施しており、その実施率は約90%です。今回、2015年度に人間ドック受診者に対して実施した「TIPI-J（日本語版 Ten Item Personality Inventory）」によるアンケートをもとに性格分析を行い、その分析結果を保健指導分野で有効に活用できないか検討いたしました。

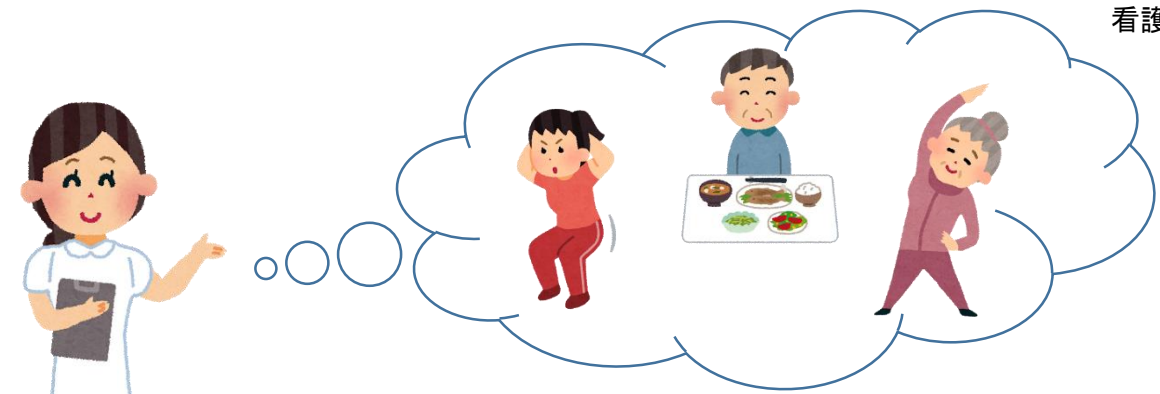
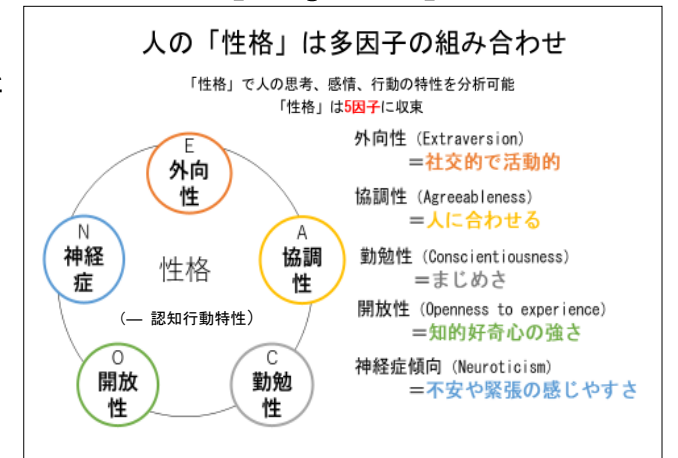
対象は2015年から3年連続で人間ドックを受診し、かつ2015年度に実施したTIPI-Jのアンケートで回答を得られた18,666名です。データ改善に向けての効果的な保健指導を検討するため、保健指導該当者の性格傾向を【Big Five】にて測定し、比較分析しました。Big Fiveでは、人の性格を「外向性・協調性・勤勉性・開放性・神経症傾向」という5つの因子に分類し、その量的比較によって性格をとらえることが可能とされています。

今回のアンケートでは、保健指導該当者は「協調性」「勤勉性」「神経症傾向」が高い傾向にあるという結果が得られました。このことから、保健指導該当者の性格は、周囲の人に合わせ、感情や環境に左右されやすく、ストレスがたまりやすい傾向があり、そのため、自分自身が置かれている仕事や家庭の忙しさなどから改善しようと思った事を継続しにくく、自分自身のことを後回しにしてしまいがちといった特性があると考えられます。

今回の結果を踏まえ、保健指導では取り組みやすく継続できるような改善目標を受診者とともに立案し、自らが主体となり健康的な習慣を持てるよう、受診者をサポートしていくことが大切であると考えます。

今後は保健指導該当者の生活習慣の乱れに着目するだけでなく、それぞれが抱えている事情や社会的背景を理解し、指導内容に配慮していきたいと思っております。その上で、少しの工夫や頑張りすぎない程度に取り組めそうなこと、受診者の生活スタイルに合わせて継続できそうなことを一緒に探していくとともに、保健指導におけるより効果的なアプローチ方法を様々な角度から検討していきたいと思っております。

看護部 松久 未来



健康相談室だよりは当クリニックホームページにも掲載しております。バックナンバーもご覧いただけます。

** ご意見・ご要望等ございましたら、遠慮なくご連絡ください **

ホームページ URL : <http://www.omiyacityclinic.com/article-letters/>

ご意見・ご感想 : sodan@omiyacityclinic.com

